



# 東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

**2022年  
4月号  
(第69号)**

## 今月のことば

「自分を知らなければ他者を、  
他者を知らなければ自分を見よ」  
(人智学のルドルフシュタイナー  
の言葉：石川良一選)

## 2021～2022年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「楽しさをシェアしよう！」

東新部部長 松香光夫(東京町田コスモス)

「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」

東日本区理事 大久保知宏(宇都宮)「私たちは 次の世代のために 何ができるか？」

アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート)「100年を越えて変革しよう」

国際会長 キム・サンチェ(韓国)「世界とともにワイズメン」

《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 直前会長 深尾香子

書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

(当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です。)

今月の強調テーマ: W4W(Week for Waste: ゴミ拾い週間)、**グリーンプロジェクト**(4ページに解説)

## 4月合同例会プログラム

東京町田コスモス・東京町田スマイリング・東京多摩みなみ  
(今回のホストは東京町田スマイリング)

日時: 4月20日(水) 19:00～20:30

会場: Zoom による WEB 開催

司会: (東京町田スマイリングクラブ)

- \* 開会点鐘 東京町田スマイリングクラブ 為我井会長
- \* ワイズソング
- \* 今月の聖句
- \* ゲスト/ビジター紹介 為我井会長
- \* ホストクラブ会長挨拶 為我井会長
- \* 東京町田コスモス・東京多摩みなみクラブ  
会長挨拶
- \* 東新部部長挨拶 松香部長
- \* ゲストスピーチ  
「アジア太平洋圏(日韓中(香港)米)のキリスト教と諸宗  
教対話と青年、Nationalism との格闘、過去の検証と未来  
の方向」講師: 寺沢邦彦さん(アイオワ州ワートバーグ大学  
宗教哲学部准教授)
- \* YMCA ニュース・各種アピール等
- \* ハッピーバースデー
- \* 閉会点鐘 為我井会長

## 巻頭言 「私たちは無力なのか？」

2月25日に始まった、ロシアによる  
ウクライナ侵攻は1か月を過ぎても  
収まっていません。目の前(映像  
を通して)で起きている戦争という  
最大の暴力に私たちは無力感を覚え  
ずにはいられません。私たちはこの  
ような理不尽な出来事を目撃者であり  
ます。



彼らは剣(つるぎ)を打ち直して鋤(すき)とし、  
槍(やり)を打ち直して鎌(かま)とする。  
国は国に向かって剣(つるぎ)をあげず、  
もはや戦うことを学ばない。

これは、旧約聖書イザヤ書2章4節のことばです。  
預言者イザヤは、紀元前700年代の人です。長きに  
わたって争いが続いていたと言われていました。この  
ような時代のなかで、イザヤは戦うことの愚かさを  
訴え、戦うことからは何も生まれないと、武器を生産  
のための道具とするよう訴えました。残念ながら、現  
在までに戦争、紛争が途絶えていません。先日、おし  
ゃべり中に女性が言ったことば「女がリーダーだっ  
たら、人を殺したり、建物を破壊したりは絶対にしな  
いののに」が心に残りました。「男社会」に生きてきた  
自分を顧みました。YMCAと共に人道支援に協力す  
ることなど、できることをしていきたいと思ひます。

(伊藤幾夫記)

## 4月のHappy Birthday

佐々木清勝さん(20日)

メネット藤田恵美さん(8日)

3月例会	在籍11名 (内広義会員2名) 例会出席10名	出席内訳	メンバー	BF		ファンド		
			7名	切手	g(今年度累計 g)	オークション	0円	
			メーキャップ	使用済み切手、少しでもご持参ください		(今年度累計	0円)	
			出席率	ぼんぼこファンド		0円	スマイル	
			89%	(今年度累計		9,900円)	(今年度累計	0円)
			メネット					
			0名					
			ゲスト・ビジター					
			3名					

### 3月例会報告

3月1日(火)、当クラブ単独での開催としては、昨年11月以来の久しぶりの例会が開催されました。メインプログラムは、メンバースピーチとして、CSの強調月間に因み、東日本区地域奉仕・YMCA サービス事業主任を務める、深尾さんのスピーチ。同じく3月の強調月間であるワイズメネットについてと併せて、「CS活動、ワイズメネット活動」と題してのスピーチでした。



スピーチでは、深尾さんの、多摩ボランティア・市民活動支援センターでの活動や「お茶」を端緒として、今に繋がるワイズメンバー、ワイズメネットとの出会い、関わりに始まり、各部/各クラブのCS・Yサ活動についてまとめたものをもとに、現状(コロナ前との比較も含めて)、課題、今後の展望、当クラブの活動へのヒント等が詳しく説明されました。また、東日本区としての自然災害時の対応およびプロボノ推進の計画についても説明がありました。

補足として、田中から、アジア太平洋地域を始めとする世界のワイズのCS活動の現況、ロシアによるウクライナ侵攻に対する世界YMCA同盟、日本YMCA同盟、ワイズ国際協会の対応についての説明が行われ、ウクライナYMCAのボランティアスタッフの映像によるメッセージも紹介されました。

ぼんぼこ農園、第4回プランター講座等の各種報告の後、各メンバー、ビジターからのひとことがあり、ほぼ定刻に終了しました。(田中記)

《出席者》石田、伊藤(幾)、小野、田中、深尾、藤田、綿引(メーキャップ:伊藤(江))【ビジター】東京むかで:城井、東京江東:藤井、東京八王子:山本

### 3月第2例会(運営会議)報告

3月7日(月)19:00から、Zoomで3月の第2例会が開催されました。例会報告、会計報告、4月ブリテン構成の他に、以下のことが話し合われました。

・5月例会のスピーカーは一般社団法人「祥鶴」代表新井永理さん(子ども食堂など運営)を予定。

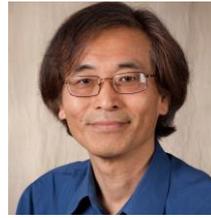
●石田さんから第4回プランター講座の課題と対応が提起され、3月15日(火)に3月第3例会を開催し議論することとなりました。

●ウクライナ支援募金について、クラブ会計から1万円を拠出し、各メンバーからの献金と合わせて区に送金することとしました。

●Week4Wasteの世界一斉行動日である4月2日(土)に(またはその前後に)各自でゴミ拾いを行い、4月9日(土)までに、写真を添付して、拾ったゴミの重量を田中まで報告することとなりました。

《出席者》6名:石田、伊藤(幾)、伊藤(江)、小野、田中、深尾、綿引(田中記)

### 今月のスピーカー



寺沢 邦彦 さん

為我井輝忠さんのご紹介  
プロフィールは、下記

タイトル:「アジア太平洋圏に於けるキリスト教と諸宗教対話とナショナリズムとの葛藤 - 過去の検証と未来への方向と青年運動」

《プロフィール》

石川県出身。青山学院大学卒業。アメリカ・ニュージャージー州ドルー大学神学修士号、フィラデルフィア州テンプル大学学術博士号(PhD)を得、フィラデルフィア州セントジョゼフ大学講師を経て、現在アイオワ州ワートバーグ大学(Wartburg College)宗教哲学部准教授。専門領域は比較世界宗教学、宗教科間対話、東洋哲学、仏教、イスラム教。米国キリスト教仏教交流学会理事。

### 「東日本区CS・Yサ事業主任」として

3月度報告:深尾香子

3月5日(土)次期会長、部役員研修会で、法人化のメリットをクラブCSに役立てるための、簡単な説明を実施(別項参照)。6日(日)ユースアクション審査員として18チームのプレゼンに参加。15日(火)同盟から



CS/ASF支援金の申請有り、区常任役員会へ報告、審議待ち。4月1日(月)日本YMCA同盟災害時セーフティガイドライン説明会に向け、光永さん、有田さんと打合せ。同日開催、CS・Yサ委に向け、トロイカで打合せ多数。4月2日~8日W4Wアピール。

### 第3回評議会&次期クラブ役員会研修会

ワイズの年度末である6月が近づいてきました。東新部では、下記の日程で表記の会が開催されます。今期の振り返り、次期への準備として設定されています。次年度は、当クラブの深尾香子さんが部長として東新部をリードしていきます。キャビネットとして、部会計として綿引康司さん、部書記として伊藤幾夫が加わります。クラブのみなさんのバックアップもよろしくお願いいたします。

出席予定者は深尾、石田、綿引、田中、小野、伊藤の6名です。

\*日時:4月23日(土)13:30~16:00

\*開催方法:オンライン(Zoom)(伊藤記)

## 次期クラブ会長・部役員研修会報告

3月5日(土)10:00～16:15、オンライン Zoom で開催されました。コロナの影響で、Zoom での研修は、昨年に引き続き 2 回目となりました。出席者は 93 名。研修では、次期理事佐藤重良さん(甲府 21 クラブ)の理事主題「未来に向けて今すぐ行動しよう」が発表され、活動方針が示されました。続いて、各事業主任、各部長から活動方針が示されました。いよいよ次期の準備がスタートしました。当クラブからは、深尾さんが次期部長として活躍の場が与えられました。また、当クラブから、綿引さんが次期東新部会計として、伊藤が次期部書記・クラブ会長として、研修を受けました。当日最期のプログラムとして、参加者が 3 つの分科会に分かれての研修も持たれました。当クラブから、石田さんが分科会 1 のファシリテーター、深尾さんが分科会 3 のプレゼンターを務められました。下記にコメントを掲載します。  
次期区役員は右下表のとおりです。(伊藤記)

### 分科会 1 報告 (石田孝次)

第 1 グループのテーマは、「待ったなし。会員増強をどうすすめるか?」です。7 部、20 クラブから計 26 名が第 1 グループの分科会に参加しました。Change! 2022 推進委員会の栗本委員長からの現状報告を受け、会員増強に鋭意取組みながらもコロナ禍の中で苦戦している様子が伝わってきました。しかしながら、一方で甲府 21 や熱海クラブなど参考になる好事例を共有することができました。新たな問題提起としては、ワイズの世代間格差の広がり、若年層の入会の障壁になっていないかと言った話や今の会員制度にこだわらず、会費負担の軽減や負担を伴わない賛助会員(友の会会員など)を積極的に受入れ、Zoom を活用しながら参加を促して、例会やイベントの活性化につなげている宝塚クラブの例なども確認できました。結論には至りませんでした。方向感としては、あれこれ考え過ぎず、ちょっとした切っ掛けを元に「取り敢えず入ってみて、だめなら退会もご自由に」と言った縛りの無い、敷居を感じさせないアプローチが、意外と活路につながるのではといった感じでした。

### 分科会 3 報告 (深尾香子)

第 3 分科会では、従来よりも社会的な信頼を得て奉仕活動を行うために人、モノ、金が善意の下に廻っていく仕組みを手に入れて、多くのクラブが夫々の地域で、YMCA と共に活躍出来る事を期待して「法人」である事を大いに利用して頂きたいという観点から、基本的な考え方をお話しました。意見交換の時間には、いくつかの先行事例をご紹介頂き、話者としてはとても嬉しく思いましたが、ワイズ全体での浸透度はまだまだだったので、これからも経験者と共に働きたいと思えます。

## 第 4 回プランター講座の今後の予定

第 4 回プランター講座(春季コース)は、4月26日(火)開講に向け準備を進めてまいりましたが、講座を担当する複数のスタッフが、東新部や東日本区との関りの中で多忙なスケジュールを抱える中で無理を重ねるのは好ましくない。それは、組織体力の限界を超えるものであり、混乱の波及を考えると予定通りにこだわると、逆に参加されるみなさまに混乱やご迷惑をおかけすることになり、好ましくないと判断いたしました。主催クラブとして臨時例会を開き協議をした結果、開始時期を 8 月以降の秋季コースとして再編成することになりました。4 月からの講座を待っていたみなさまには、期待を裏切ることとなり心苦しく、本事業を担当するものとして断腸の思いです。再編後の講座は、ボランティアベースの CS 事業としてしっかりと目的を果たし、参加されるみなさまに喜ばれ、楽しい居場所作りに心がけ、十分な準備期間を設け運営上の工夫をこらして講座の完成度を高めてまいる所存でございます。今回のプログラムは、早めのご案内に努め、新しいスタイルを取り入れて行きたいと考えています。例えば、初心者向けの「オリエンテーション」や「収穫祭」を番外編に取り入れ盛り上げて行きたいと考えております。どうかよろしく願いいたします。多くのお参加をお待ち申し上げ、また、ワイズメンのお友達にも声掛けをして誘っていただき、一緒に楽しい時間を過ごしていただければと存じます。そして、この講座が縁となってワイズへの「お誘い」につながれば望外の喜びです。今後とも本事業の継続に努めてまいります。

(講座担当 石田記)

## 2022～2023 年度東日本区役員一覧 敬称略

役職	氏名	所属クラブ
理事	佐藤重良	甲府 21
次期理事	山田公平	宇都宮
直前理事	大久保知宏	宇都宮
書記	清藤城宏	甲府 21
会計	荻野 清	甲府 21
地域奉仕・Y サ事業主任	小山久恵	東京サンライズ
会員増強事業主任	佐藤節子	厚木
国際・交流事業主任	利根川太郎	川越
ユース事業主任	衣笠輝夫	埼玉
北海道部部长	小谷和雄	札幌北
北東部部部长	大久保知宏	宇都宮
関東東部部部长	工藤大丈	東京ベイサイド
東新部部部长	深尾香子	東京多摩みなみ
あずさ部部长	後藤明久	富士五湖
湘南・沖縄部部部长	小松仲史	厚木
富士山部部部长	前原末子	御殿場

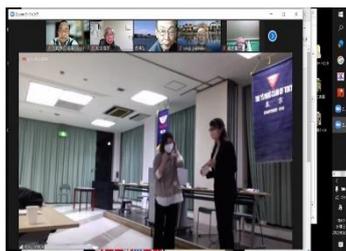
(正式には年次代議員会での承認を経て決定されます)

## ぽんぽこ農園便り

2月23日(水)にジャガイモの種芋を植え付けし、そろそろ発芽が見られる頃だろうと3月12日(土)の午後、春の陽気に誘われてぽんぽこ農園を覗いてきました。残念ながら発芽はまだ先で影も形もありませんでした。一方、玉ねぎの成長は思わしくなく心配していましたが、このところの陽気と気温の上昇で勢いが増していました(右下写真)。作物は、自然に左右されるなとつくづく実感させられました。何よりも日頃のメンテナンスは欠かせませんし、ちょっとした変化にも注意し、良い環境の中で育てて行く必要があると感じた次第です。



ぽんぽこ農園に関連して嬉しいエピソードがありましたので報告させていただきます。3月9日(水)の東京クラブのメネット主催の例会のゲストスピーカーとして慈有塾の高木実有代表がスピーチされ、Zoomで拝聴しました(左下写真)。画面越しに私がZoom



参加していることがわかり緊張感が和らいだのか講話の最後に慈有塾へのサポーターとして東京多摩みなみクラブからの支援の状況についてお話がありました。自営の農園で栽培した採れたての大根を時間外に教室まで届けてくれ、食に窮している生徒たちが大喜びし、笑みを浮かべながら感謝していたと言うお話がありました。嬉しいエピソードとしてお知らせします。今後も、ぽんぽこ農園で採れる玉ねぎ、ナス、ピーマンなど育てた野菜たちの安住の地として喜んでいただける。そのことが、我々が目指すwell-beingの活動を通じて地域に役に立つ機会になることをしっかり認識し、これからもぽんぽこ農園の活動を続けて行きたいと思いました。(石田記)

## これからの予定

- \*4/11(月) 4月第2例会
- \*4/14(木) 第3回部役員会
- \*4/16(土) 第5回ワイズ・ナイトフォーラム  
20:00~Zoom 江夏一彰さん(医師、東京武蔵野多摩)
- \*4/20(水) 3クラブ合同例会 19:00~20:30 Zoom
- \*4/23(土) 第3回部評議会&次期クラブ役員研修会
- \*5/3(火,祝) 5月例会 19:00~20:30 Zoom
- \*5/9(月) 第2例会 19:00~20:30 Zoom
- \*5/14(土) 部役員引継ぎ会 13:30~リアル(予定)

## YMCA ニュース

担当主事 小野 実

いつも YMCA へのご理解、ご協力に感謝いたします。

◆西東京コミュニティーセンターについて  
西東京コミュニティーセンターの基幹事業であった放課後等デイサービス「PIT 国立」の閉所に伴い、新たな展開を模索するため、活動を中止することとなりました。センター自体は引き続き賃貸契約を継続いたしますが、スタッフは常駐せず、使用時のみ開所することとなります。西東京コミュニティーセンターは、前身である武蔵野・立川の時代から、野外活動を中心に障害児・者の活動を展開してきた経緯があります。新たな形態での活動継続を模索する一方で、拠点維持のための運営も考えなければなりません。西東京エリアでの YMCA 運動に関するご意見は本部事務局(担当:星野太郎)までご遠慮なくお寄せください。(03-6302-1960/koho@tokyoymca.org)

### ◆今後の主な行事日程

- ・4月1日 早天祈祷会 オンライン(会場参加も可)  
説教者:古賀博牧師(評議員会会長/日本基督教団早稲田教会牧師)
- ・4月14日 「第31回チャリティーゴルフ大会」  
会場:PGM 総成ゴルフクラブ
- ・5月21日 「第19回会員大会」(開催方法未定)

### ◆ウクライナ緊急支援募金のお願い

YMCAは120の国と地域にあり、ウクライナにもロシアにも、また周辺諸国にも多数の拠点をもって活動しています。各国が加盟する世界YMCA同盟およびヨーロッパYMCA同盟は2月25日、「世界の仲間との連帯」を呼びかけ、人道的な立場から支援していくと声明を出しました。これを受けて日本国内のYMCAは、現地の活動をサポートするため募金を行なうこととしました。ご理解とご協力をお願いします。詳しい募金方法についてはホームページをご覧ください。

<http://tokyo.ymca.or.jp/news/2022/03/20220301.html>

## 強調月間「グリーンプロジェクト」について

ワイズメンズクラブ国際協会は、2010年8月に横浜で開催された第69回国際大会において、「横浜宣言」を採択し、地球環境保護への取り組みを進め、カーボンニュートラル(活動に伴う温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる)な組織となることを決意しました。これを実現するために、国際大会、地域大会参加者に、一定のカーボンニュートラル献金を求めたり、主にYMCAの様々なプロジェクトを支援したりしてきました。プロジェクトの例としては、YMCA施設へのバイオガスプラント・コンポストシステム導入、照明のLED化、太陽熱温水システム・太陽光発電システムの設置などがあります。(田中記)

### 編集後記

桜が満開。コロナ・オミクロンBA-2がじわり増加傾向が心配。Change! 2022!あと9か月(伊)